30 エラーメッセージ

この章では、GP-Pro EX のエラーメッセージと対処方法について説明します。GP-Pro EX での作画時 / エラーチェック時 / 転送時 /GP 上に表示されるエラーメッセージに分かれています。以下、各エラーの説明ページへ読み進んでください。

30.1	エディタに表示されるエラー	
30.2	エラーチェック時に表示されるエラー	
30.3	転送エラー	30-16
30.4	GP に表示されるエラー	30-20

30.1 エディタに表示されるエラー

30.1.1 Dスクリプト

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
ユーザ定義関数が相互参照してい るため、保存できません。 相互参照を修正してください。 相互参照とは、ユーザ定義関 数 A がユーザ定義関数 B を呼び 出し、ユーザ定義関数 B がユー ザ定義関数 A を呼び出す状態の ことです。	ユーザ定義関数は相互参照できません。呼 び出す関数を確認して下さい。	「20.6 スクリプト 作成の流れ / 20.6.3 ユーザー 定義関数の設定 の流れ」(20-42 ページ)

30.1.2 アドレス一括変換

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
アドレスー括変換の処理中に異常 が発生しました。変換処理を中断 し、変換前の状態に戻します。	ユーティリティ [アドレス一括変換] の設定 を再度、手順どおりに設定し直してくださ い。	^{©デ} 「6.6 プロジェク トファイル内の アドレスを一括 変換したい」(6- 33 ページ)

30.1.3 アドレスコントロール

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
入力されたアドレスは複数の接続 機器で有効なアドレスです。機器 名も入力してください。	-	^{②デ} 「7.2 複数接続機 器(PLC など) をつなぎたい」 (7-3 ページ)

30.1.4 アラーム文字列

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
アドレスが設定範囲を超えまし た。n を超える割付はできませ ん。	アドレスの設定範囲を再確認し、自動割付 を実行して下さい。 (nは設定可能な最大アドレス)	^{C愛「} 19.9設定ガイド アラーム設定 (ブロック1)の
現在位置からの設定可能な範囲は 1~nです。範囲内の値を指定し てください。	アドレスの設定範囲を再確認し、自動割付 を実行して下さい。 (n は設定可能な最大追加ビット数)	(フロック1)の 設定ガイド」(19- 73 ページ)
上限値、下限値の大小関係が正し くありません。	上限値は下限値よりも大きい値を設定して 下さい。	^{CGP} 「19.9設定ガイド ワード監視」 (19-75 ページ)
最終行にアラーム設定が行われて いるため、行の挿入はできませ ん。行挿入をキャンセルします。	これ以上アラーム行を挿入することができ ません。行挿入を行う場合は、最終行の メッセージを削除、または移動して下さい。	-

30.1.5 イメージ管理

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
作画対象である表示器本体のカ ラー数範囲と異なる設定のため、 選択された設定は、正しく表示さ れない可能性があります。	表示器本体の色数の制限により、本体上で 正しく表示されない場合があります。色数 を確認して、再度変換を行ってください。	^{CGP} 「9.5 色・線種・ パターンを変え たい」(9-34 ペー ジ)
イメージを読込めませんでした。 他のイメージを指定してくださ い。	ファイルが壊れているか、フォーマットが 違う、あるいは使用中のためインポートで きませんでした。インポート元のファイル を確認し、再度実行してください。	_
オリジナルファイルが[元のファ イルの場所]に存在しないため、 変換できません。	変換元ファイルが指定された場所にありま せん。ファイルの場所を指定し、再度実行 して下さい。	_

30.1.6 イメージ部品

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
イメージを読込めませんでした。	指定したイメージファイルが壊れているか、	^{CG®} 「9.10 画像を貼り
他のイメージを指定してくださ	bmp または JPEG 形式ではありません。ファ	付けたい」(9-63
い。	イルを指定しなおしてください。	ページ)

30.1.7 印刷全般

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
項目に設定がないため、印刷対象 が存在しません。	印刷項目が選択されていません。選択内容 を確認し、再度実行して下さい。	^{CGP} 「28.6設定ガイド 共通設定」(28- 40 ページ)

30.1.8 画面管理

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
指定されたプロジェクトファイル が読み込めませんでした。コピー するファイルを指定しなおしてく ださい。	ファイル保存先とのリンクが切れていない か確認して再度読み込んでください。	^{CGP「} 6.8 他のプロ ジェクトから画 面をコピーした い」(6-40 ペー ジ)
現在編集中のプロジェクトが指定 されたため、コピーできませんで した。他のプロジェクトを指定し てください。	編集中のプロジェクトファイルを指定する 場合は編集を終了させてから指定してくだ さい。	

30.1.9 機種変更時アドレス一括変換

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
対象ファイルのフォーマットが違 うため、インポートできませんで した。	ファイルが壊れているか、フォーマットが 違うためインポートできませんでした。イ ンポート元のファイルを確認し、再度実行 してください。	
対象ファイルの指定アドレスは、 現在設定されている接続機器のア ドレスではないため、インポート できませんでした。	ファイルのアドレスを確認し、再度実行し てください。	^{GPT} 7.4 接続機器 (PLC など)を変
対象ファイルのフォーマットが違 うため、一部のデータをインポー トできませんでした。個別機器名 やアドレスを確認してください。	ファイルの個別機器名やアドレスを確認し、 再度実行してください。	更したい アド レス変換範囲を 指定して機種変 更」(7-23ペー ジ)
対象ファイルをインポートできま せんでした。	ファイルが壊れているか、使用中のためイ ンポートできませんでした。インポート元 のファイルを確認し、再度実行してくださ い。	
対象ファイルヘエクスポートでき ませんでした。	対象ファイルが読み取り専用でないか、指 定先のドライブ、フォルダを確認してくだ さい。	

30.1.10 起動

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
バージョンの異なるエディタを複 数起動することは出来ません。	稼動中のエディタと同じバージョンのもの を起動してください。	
これ以上、エディタを起動するこ とができません。	同時に起動できるのは2つまでです。	_

30.1.11 組み込み関数

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
[開始]アドレスと[終了]アド レスに異なるデバイスを設定する ことはできません。	[開始]アドレスと[終了]アドレスは同じ デバイスを設定して下さい。	
「終了」アドレスには、「開始」ア ドレスより若いアドレスまたは同 じアドレスを設定することはでき ません。正しい範囲を設定してく ださい。	[終了] アドレスには [開始] アドレスより 大きいアドレスを設定して下さい。	_

30.1.12 サウンド設定

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
貼り付け先の範囲指定が正しくな いため、貼り付けできません。	貼り付け先が貼り付け元の範囲指定のN倍 (Nは1以上の整数)となるようにしてくだ さい。	
アドレスが設定範囲を超えまし た。〔最大値〕を超える割付はで きません	接続機器に対応したデバイスアドレスを指 定してください。	_
指定したファイルを読込むことが できませんでした。	対象ファイルを確認し、再度実行してくだ さい。	
指定したファイルを変換した後、 ファイルに出力することができま せんでした。	対象ファイルを確認し、再度実行してくだ さい。	
指定したファイルは未対応の フォーマットのため、読込むこと ができませんでした。	変換可能なフォーマットに変換し、再度実 行してください。	^{CGP} 「26.5設定ガイド/ 26.5.1 共通設定 (サウンド設定) の設定ガイド」 (26-13 ページ)
サウンドデータが存在しないた め、編集(削除、再生)できませ ん	CF カード出力フォルダ内にデータが存在す るか確認してください。	「6.7プロジェクト 情報をみたい CF カード出力先 フォルダの設定 手順」(6-38ペー ジ)

30.1.13 周辺機器設定

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
接続機器 n はプロジェクトファイ ル内の各種設定で使用されている ため、削除できません。使用箇所 はクロスリファレンスで確認する ことができます。 n は削除対象の接続機器番号	部品や機能でアドレスが使用されている機 器は削除できません。 使用している部品、機能のアドレスを変更 してから再度実行して下さい。	^{(②} 「6.5 プロジェク ト内で使用中の アドレスを一覧 で確認したい」 (6-25 ページ)

30.1.14 新規作成

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
オープンしようとしているファイ ルは、本アプリケーションのプロ ジェクトファイルでは無いため、 開くことができませんでした。	ファイルの拡張子が(*.prx)となっている かを確認し、再度実行して下さい。	
プロジェクトファイルの読込みに 失敗したため、開くことができま せんでした。	対象ファイルが壊れているか、フォーマッ トが違うため読み込めませんでした。読み 込み元ファイルの拡張子等を確認し、再度 実行してください。	-
GP-PRO/PB3 が起動できません でした。 アプリケーションがインストール されている場合はファイルを指定 して実行して下さい。	PRO-Pro/PB3 がインストールされているか 確認してください。 PRO-Pro/PB3 のインストールには別 CD が必 要です。	

30.1.15 シンボル変数一覧

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
削除対象のシンボルは現在使用中 のため、削除できません。使用箇 所はクロスリファレンスで確認す ることができます。	部品等に登録されているシンボルを別のシ ンボル(もしくはアドレス)に変更してか ら、対象シンボルの削除を行ってください。	^{②『} 「6.9 アドレスを シンボル化した い」(6-44 ペー ジ)

30.1.16 セキュリティ設定

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
同じパスワードが設定されていま す。パスワードを変更してくださ い。	同ーパスワードを複数のレベルで指定する ことはできません。パスワードを変更して 下さい。	^{C愛} 「22.5 共通設定 (セキュリティ設 定)の設定ガイ ド」(22-9 ペー ジ)
「オフライン移行時にレベル 15 のパスワードを使用する」が有効 になっています。レベル 15 にパ スワードを設定してください。	レベル 15 のパスワードを設定してくださ い。	^{C愛} 「22.5 共通設定 (セキュリティ設 定)の設定ガイ ド / 22.5.1 パス ワード設定」(22- 10 ページ)

30.1.17 多言語切り替え

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
指定した言語に一致するフォント が、Windows にインストールさ れていないため、文字が正常に表 示されない場合があります。	選択したテーブルのメッセージに、現在の OS では表示できない言語フォントが含まれ ています。 OS を変更するかフォントを追加でインス トールしてください。	_

30.1.18 データ制限

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
データの制限を超えてます。エ ラーを確認して下さい。 *このデータを保存しても、本体 への送信は行えません。	エラーが存在するデータは、保存はできま すが、本体へは送信できません。エラー内 容を確認して下さい。	^{CGF} 「30.1 エディタに 表示されるエ ラー / 30.1.27 レ シピ設定」(30- 10 ページ)

30.1.19 テンプレート

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
対象テンプレートを読み込めませ んでした。	他のテンプレートを選択して下さい。	_

30.1.20 パッケージウィンドウ

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
*** パッケージには、ユーザ作成 部品を登録することが出来ませ ん。ユーザ作成部品が登録できる のは、ユーザが作成したパッケー ジです。	パッケージを新規作成し作成した部品を登 録し直してください。	「9.8同じ絵を他の 画面でも編集し たい/9.8.2 作成 した絵をパッ ケージに登録し よう」(9-54 ペー ジ)

30.1.21 複数コピー

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
1 画面に対する部品数の制限を超 えたため、指定された数の複数コ ピーが正常に完了しませんでし た。部品数の制限数は まで です。	不要な部品がある場合は削除して、再度実 行して下さい。	「6.14 制限事項 6.14.1 画面作成 の制限事項 画 面に配置できる 機能数」(6-130 ページ)
アドレスの設定範囲を超えたた め、指定された数の複数コピーが 正常に完了しませんでした。	複数のアドレスを持つ部品の場合、一つで もアドレスが範囲を超えていると表示され ます。 アドレスの範囲を確認し、再度実行して下 さい。	_

30.1.22 部品一覧

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
対象ファイルヘエクスポートでき ませんでした。	出力先のファイルやディスクを確認し、再 度実行して下さい。	_

30.1.23 部品選択ツールバンド

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
対象ファイルを読込めませんでし た。	指定したイメージファイルが壊れているか、 bmpまたは JPEG 形式ではありません。読込 み先のファイルやドライブを確認してくだ さい。	_
対象ファイルへ書込めませんでし た	ファイルの書込みに失敗しました。書込み 先のファイルやドライブを確認してくださ い。	

30.1.24 プロジェクトプロパティ

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
フォルダが作成できませんでし た。	CF カード出力フォルダの設定を確認し、指 定ドライブ、フォルダを確認してください。	「6.7プロジェクト 情報をみたい CF カード出力先 フォルダの設定 手順」(6-38ペー ジ)

30.1.25 マーク

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
マークライブラリの更新に失敗し ました。	マークの削除に失敗しました。指定ファイ ルが読み取り専用でないか、指定先ファイ ル、フォルダ等を確認してください。	
指定されたマークライブラリ名が 無効なため、マークライブラリの 新規作成に失敗しました。	マークライブラリ名を変更して、再度実行 して下さい。	-
指定されたマークライブラリ名が 無効なため、マークライブラリの 名称変更に失敗しました。	マークライブラリ名を変更して、再度実行 して下さい。	

30.1.26 文字列テーブル

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
文字数と文字行数の範囲内に文字 列が収まらない場所があります。 貼り付けできませんでした。	貼り付ける文字列が文字数と文字行数の範 囲内に収まるようにして下さい。	^{CGP} 「15.7設定ガイド/ 15.7.3 文字列 テーブル設定の 設定ガイド」(15- 49 ページ)
メッセージが入力されているセル は、削除することができませんで した。	メッセージを削除してから、セルの削除を 行ってください。	_
対象ファイルのフォーマットが違 うため、インポートできません。	ファイルが壊れているか、フォーマットが 違うためインポートできませんでした。イ ンポート元のファイルを確認し、再度実行 してください。	
指定数以上設定されている文字列 は、インポートされませんでし た。 ・[言語番号:言語:テーブル名] ・[言語番号:言語:テーブル名]	指定ファイルに指定範囲外のデータが存在 します。 範囲外のデータは削除してインポートされ ます。 [言語番号]1~16 [言語]エクスポート時出力される形式 [テーブル名]文字数×文字行数 1200	^{くプ} 「15.6 登録した文 字列テーブルを 別ファイルで管 理したい / 他のプ ロジェクトでも 利用したい」(15- 30 ページ)
対象ファイルをインポートできま せんでした。	ファイルが壊れているか、使用中のためイ ンポートできませんでした。インポート元 のファイルを確認し、再度実行してくださ い。	
使用できない言語が設定されてい るため、インポートに失敗しまし た。	ファイル内の言語設定で指定している言語 が現在オープン中のプロジェクトでは指定 されていません。インポート元ファイルを 確認するか、システム設定 → フォント設定 で使用フォントの追加を行い、再度実行し てください。	^{(3P} 「 4.2 ストローク フォント、標準 フォント」(4-3 ページ)
対象ファイルヘエクスポートでき ませんでした。	出力先のファイルやディスクを確認し、再 度実行して下さい。	「15.6 登録した文 字列テーブルを 別ファイルで管 理したい / 他のプ ロジェクトでも 利用したい エ クスポート」(15- 31 ページ)
文字数と文字行数の範囲内に文字 列が収まらない行があります。イ ンポートできませんでした。	インポートする文字列が文字数と文字行数 の範囲内に収まるように設定して下さい。	「15.6 登録した文字列テーブルを 字列テーブルを 別ファイルで管理したい/他のプロジェクトでも 利用したい インポート」(15-33ページ)

30.1.27 レシピ設定

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
ファイリングデータ(CF)にア クセス出来なかったため変換でき ませんでした。設定を確認してく ださい。	CF カード出力フォルダ内のデータが読み取 り専用になっていないか確認してください。	「6.7プロジェクト 情報をみたい CF カード出力先 フォルダの設定 手順」(6-38 ペー ジ)
一部の情報が貼り付けできません でした	貼り付け範囲と貼り付けるデータの範囲が 異なる可能性があります。貼り付けるデー タの内容を確認してください。	_
対象ファイルを読み込めませんで した。	指定したデータが壊れている可能性があり ます。CF カード出力フォルダ内にデータを 確認してください。	「6.7プロジェクト 情報をみたい CF カード出力先 フォルダの設定 手順」(6-38 ペー ジ)
CSV ファイルが作成されていな いため、インデックスファイルを 作成できません。	CSV ファイルを作成後に実行して下さい。	^{C愛} 「25.11CSVデータ 転送のしくみ インデックス ファイルとは?」 (25-99ページ)
対象ファイルに不要なデータが存 在するため、一部のデータを読込 めませんでした。	対象ファイルに指定範囲外のデータが存在 します。インポート元ファイルのデータ範 囲を再確認してください。 (範囲外のデータは削除してインポートされ ます)	^{②デ} 「25.3 レシピ (CSV データ)を 作成したい」(25- 9ページ)
対象ファイルのフォーマットが違 うため、読込めませんでした。	対象ファイルが壊れているか、フォーマッ トが違うため読み込めませんでした。読み 込み元のファイルを確認し、再度実行して ください。	^(G) 「25.3 レシピ
対象ファイルを読込めませんでし た。	対象ファイルが壊れているか、使用中のた め読み込めませんでした。ファイルを確認 し、再度実行してください。	(CSV テータ)を 作成したい」(25- 9ページ)
対象ファイルへ書込めませんでし た。	出力先のファイルやディスクを確認し、再 度実行して下さい。	

30.2 エラーチェック時に表示されるエラー

エラーメッセージ	対処方法	参照
ポートの設定が重なっています。 周辺機器一覧で確認してくださ い。	ポート項目に!マークの表示がある周辺機 器を確認し、重ならないポートへ変更して ください。	「7.2複数接続機器 (PLC など)をつ なぎたい/7.2.2 設定手順」(7-4 ページ)
送信データサイズが上限を超えて います。送信データサイズを確認 してください。	ユーザー画面エリアが各機種に対して下記 のメモリ範囲内に収まるように設定してく ださい。 GP330 × (6MB) GP34 × × ~ 37 × × (8MB) (ただしデータ構造の仕様上 90 数 % 程度で エラー出力される可能性があります)	「6.13 設定ガイ ド 6.13.6 [シス テム設定ウィン ドウ] の設定ガ イド [フォン ト設定] の設定 ガイド」(6-111 ページ)
[機能名]に不正なアドレスがあ ります。正しいアドレスを設定し てください。 *機能名には、共通設定の機能や 画面の場合、"ベース画面1"など と場所を特定できる表示を行う	指定された場所のアドレスに対してキー パッドを使ってアドレス入力を行ってくだ さい。	^{CG™} 「14.2 数値データ を表示・入力し たい / 14.2.2 設定 手順」(14-6 ペー ジ)
実アドレスが定義されていないシ ンボルがあります。シンボル設定 で確認してください。	アドレス設定にシンボルを使用、または空 欄になっている部品を削除するか、空欄の 場合はアドレスを設定してください。	^{C愛} 「6.9アドレスをシ ンボル化したい / 6.9.2 設定手順」 (6-45 ページ)
プロジェクトで使用するフォント に登録していないフォントが指定 されています。フォント設定で追 加を行うか、フォントを変更して ください。	_	「6.13 設定ガイ ド 6.13.6 [シス テム設定ウィン ドウ]の設定ガ イド [フォン ト設定]の設定 ガイド」(6-111 ページ)
バックアップ SRAM の容量を超 えています。超過分は実行されま せん。プロジェクト情報で確認し てください。	使用する SRAM 容量の合計が約 320KB (GP3202B のみ約 120KB)を超えないよう にしてください。	^{GP} 「6.7 プロジェク ト情報をみたい」 (6-36 ページ)
CF カードを使用する機能が設定 されています。この機種は CF カードに対応していませんので、 動作できません。	GP3202Bの機種にて CF カード出力フォル ダが設定されています。機種変更するか、 CF カード出力フォルダを設定しないように してください。	「6.13 設定ガイ ド 6.13.6 [シス テム設定ウィン ドウ]の設定ガ イド [機種設 定]の設定ガイ ド」(6-89ペー ジ)
		ト情報をみたい」 (6-36ページ) 次のページに続きます。

GP-Pro EX リファレンスマニュアル

エラーメッセージ	対処方法	参照
* * [番号 : コメント] にエラー が存在します。 (* * = ベース画面、ウインドウ 画面) D スクリプト [IDNo] の式が正し くありません。	ツールボックス、組み込み関数等の入力補 助機能を利用して確実に式を入力し、[メッ セージエリア]にエラーが残らないように してください。	「20.8設定ガイド/ 20.8.1D スクリプ ト(共通設定部 分)の設定ガイ ド」(20-50ペー ジ)
グローバルDスクリプトの使用 アドレス数が上限を超えていま す。超過分は実行されません。	トリガ条件の同じスクリプトを複数作り命 令文をわけるなどしてグローバルDスクリ プト(callしている関数も含む)内での総使 用アドレス数が、256個を超えないように設 定してください。	^{CGF} 「20.9 制限事項 / 20.9.1D スクリプ ト / グローバル D スクリプトの制
グローバルDスクリプト、関数 の総数が上限を超えています。 32 個を超えた分は実行されませ ん。	トリガ条件の同じ複数のスクリプトを1つ にまとめるなどしてグローバルDスクリプ ト、関数の総数が、32個を超えないように してください。	スクリプトの制 限事項」(20-55 ページ)
グローバル D スクリプト [グロー バル D スクリプト番号] にエラー が存在します。式が正しくありま せん。	[メッセージエリア]に表示されたコメント 等を参照して、ツールボックス、組み込み 関数を利用し確実に式を入力してください。	^{CGT} 「20.8設定ガイド/ 20.8.1D スクリプ ト(共通設定部 会)の設定ガイ
拡張スクリプトにエラーが存在し ます。式が正しくありません。	[メッセージエリア]に表示されたコメント 等を参照して、ツールボックス、組み込み 関数を利用し確実に式を入力してください。	分)の設定カイ ド」(20-50 ペー ジ)
データ転送表示器の総数が上限を 超えています。32個を超えた分 は動作できません。	プロジェクト全体での配置の総数が 32 個を 超えないようにしてください。	[@] 「6.14制限事項
[番号:コメント]にエラー が存在します。 (=ベース画面、ウインドウ 画面) データー括表示グラフ、ヒストリ カルトレンドグラフは1画面に8 個のみ配置可能です。	1 ベース画面において機能するデーター括表 示グラフ、ヒストリカルトレンドグラフ部 品は 8 個までです。それ以上については別 画面に分けてください。	6.14.1 画面作成 の制限事項 画 面に配置できる 機能数」(6-130 ページ)
* * [番号:コメント]にエラー が存在します。 データー括表示グラフ、ヒストリ カルトレンドグラフのチャンネル は 40 チャンネルのみ設定可能で す。	1 ベース画面においてデーター括表示グラ フ、ヒストリカルトレンドグラフの各部品 のチャンネル数を足した総数が 20 チャンネ ルを超えないようにしてください。	^{(②「} 17.8 制限事項 / 17.8.2 ヒストリ カルトレンドグ ラフの制限事項」 (17-69 ページ)
** [番号:コメント]の部品数 が上限を超えています。 (**=ベース画面、ウインドウ 画面、キーボード) 例)ベース画面 1: 運転画面	1 画面上に配置した部品の総数が 384 個を超 えないようにしてください。	^{CGF} 「6.14 制限事項 6.14.1 画面作成 の制限事項 画 面に配置できる
[番号:コメント]のアドレ ス数が上限を超えています。 (=ベース画面、ウインドウ 画面、キーボード)	1 画面上にある部品などに設定したアドレス の総数が 1000 個を超えないようにしてくだ さい。	曲に記 <u>し</u> ている 機能数」(6-130 ページ)

エラーメッセージ	対処方法	参照
* * [番号 : コメント]の容量が 上限を超えています。 (* * = ベース画面、ウインドウ 画面、キーボード)	部品を別画面に分けるなどして1画面あた りのデータ容量が1MBを超えないようにし てください。	^{CGP} 「6.14 制限事項 6.14.1 画面作成 の制限事項 作 成できる画面数」 (6-129 ページ)
* * [番号:コメント]にエラー が存在します。 データ表示器(入力許可)、サン プリングデータ表示器、特殊デー タ表示器(CSV表示)は同時配置 できません。	いずれか 1 個の表示器だけを配置するよう にしてください。	_
* * [番号:コメント]にエラー が存在します。 (**=ベース画面、ウインド ウ画面) ウインドウ画面上ではデータ表示 (ポップアップ有り)は使用でき ません。	データ表示部品の入力許可機能を外すか、 [タッチ]動作ではなく[ビット]動作設定 を使用してください。	^{CG} 「14.12 データ表 示器の設定ガイ ド / 14.12.1 数値 表示」(14-53 ページ)
[番号:コメント]にエラー が存在します。 (=ベース画面、ウインド ウ画面) アラームのサマリ機能は1画面に 1個のみ配置可能です。	画面上へ配置するアラーム部品(サマリ表 示)は1つにしてください。2個目からは配 置に関しては動作が保障できません。	^{CGP} 「19.3 発生中のア ラームを一覧し たい / 19.3.2 設定 手順」(19-14 ページ)
[番号:コメント]にエラー が存在します。 (=ベース画面、ウインドウ 画面) サプ表示を使用するアラーム部品 は1画面に1個のみ配置可能で す。	アラーム部品(履歴)を画面上へ複数配置 している場合、サブ表示は行えません。ア ラーム部品(履歴)を1つにしてください。	「19.9設定ガイド/ 19.9.3 テキスト アラーム部品の 設定ガイド」(19- 116 ページ)
* * [番号:コメント]にエラー が存在します。 (**=ベース画面、ウインド ウ画面) テキストアラームは1画面に1 個のみ配置可能です。	画面上へ配置するテキストアラームは1つ にしてください。2個目からは配置に関して は動作が保障できません。	「19.10 制限事項 19.10.4 テキスト アラーム部品の 制限事項」(19- 135 ページ)
[番号:コメント]にエラー が存在します。 (=ベース画面、ウインド ウ画面) 図形表示器の CF ファイル表示機 能は1画面に1個のみ配置可能 です。	画面上へ配置する図形表示器(CFファイル 表示機能)は1つにしてください。2個目か らは配置に関しては動作が保障できません。	^{CGP「} 10.6 制限事項 / 10.6.4 図形表示 器 (CF 画像表 示) の制限事項」 (10-55 ページ)

エラーメッセージ	対処方法	参照
[番号:コメント]にエラー が存在します。 (=ベース画面、ウインドウ 画面) 図形表示器の移動表示で指定でき る表示位置数は1画面に512個 のみ配置可能です。	1 画面に配置する図形表示器の表示位置数の 合計が512 個を超えないようにしてください。	^{(②「} 10.6 制限事項 / 10.6.3 図形表示 器(移動表示)
が存在します。 (**=ベース画面、ウインドウ 画面) 図形表示器の移動表示(マーク) は1画面に30個のみ配置可能で す。	回面上へ配置する図形表示語の数を減らし てください。	の制限事項」(10- 53 ページ)
[番号:コメント]にエラー が存在します。 (=ベース画面、ウインド ウ画面) 特殊データ表示器のデータ転送機 能は1画面に1個のみ配置可能 です。	画面上へ配置する特殊データ表示器(デー タ転送機能)は1つにしてください。2個目 からは配置に関しては動作が保障できません。	_
[番号:コメント]にエラー が存在します。 (=ベース画面、ウインド ウ画面) 特殊データ表示器の CSV 表示機 能は1画面に1個のみ配置可能 です。	画面上へ配置する特殊データ表示器(CSV 表示機能)は1つにしてください。2個目か らは配置に関しては動作が保障できません。	
* * [番号:コメント]にエラー が存在します。 (**=ベース画面、ウインド ウ画面) 特殊データ表示器のファイルマ ネージャ表示機能は1画面に1 個のみ配置可能です。	画面上へ配置する特殊データ表示器(ファ イルマネージャ表示機能)は1つにしてく ださい。2個目からは配置に関しては動作が 保障できません。	^{(②「} 25.13.2 CSV データ表示 / 編集 / 印字の制限事項
* * [番号:コメント]にエラー が存在します。 (**=ベース画面、ウインド ウ画面) ウインドウ画面上では特殊データ 表示器の CSV 表示機能の編集 モードは使用できません。	ベース画面上に貼り付けた特殊データ表示 器にて CSV 表示機能を使用してください。	表示の制限事 項」(25-116 ペー ジ)
[番号:コメント]にエラー が存在します。 (=ベース画面、ウインド ウ画面) ウインドウ画面上では特殊データ 表示器のファイルマネージャ機能 は使用できません。	ベース画面上に貼り付けた特殊データ表示 器にてファイルマネージャ機能を使用して ください。	

エラーメッセージ	対処方法	参照
* * [番号:コメント]にエラー が存在します。 (**=ベース画面、ウインド ウ画面) サンプリングデータ表示器は1画 面に1個のみ配置可能です。	画面上へ配置するサンプリングデータ表示 器は1つにしてください。2個目からは配置 に関しては動作が保障できません。	_
[番号:コメント]にエラー が存在します。 (=ベース画面、ウインド ウ画面) スイッチ/ランプの過去表示機能 は1画面に1個のみ配置可能で す。	画面上へ配置するスイッチ/ランプ(過去表 示機能)は1つにしてください。2個目から は配置に関しては動作が保障できません。	^{(GP} 「17.8.2 ヒストリ カルトレンドグ ラフの制限事項
[番号:コメント]にエラー が存在します。 (=ベース画面、ウインド ウ画面) ヒストリカルトレンドグラフの過 去データ表示機能は1画面に1 個のみ配置可能です。	画面上へ配置するヒストリカルトレンドグ ラフ(過去表示機能)は1つにしてくださ い。2個目からは配置に関しては動作が保障 できません。	過去データ表 示の制限事項」 (17-71 ページ)
[番号:コメント]にエラー が存在します。 (=ベース画面、ウインド ウ画面) 常時読込みが設定されたウインド ウは1画面に3個(グローバル ウインドウ使用時は2個)まで配 置可能です。	画面上へ配置する常時読込み設定のウィン ドウ部品を3個(グローバルウィンドウ使 用時は2個)までにしてください。 それ以降のウィンドウは動作しませんが 常時読込み有り3個+通常381個という形 まで画面上に配置することは可能です。	^{(GP「} 18.7 ウィンドウ 部品の設定ガイ ド / 18.7.1 ビット 動作」(18-22 ページ)
* * [番号:コメント]にエラー が存在します。 (**=ベース画面、ウインド ウ画面) 1つの画面に呼び出すことのでき るキーボードは1個のみです。	画面上へ配置するキーボード(キーボード 登録による画面呼び出し)は1つにしてく ださい。2個目からは配置に関しては動作が 保障できません。	^{(②デ} 「9.10 画像を貼り 付けたい」(9-63 ページ)
セキュリティ設定のパスワードが 重複しています。パスワードを変 更してください。	各レベルで異なるパスワードを設定してく ださい。	「22.5 共通設定 (セキュリティ設 定)の設定ガイ ド/22.5.1 パス ワード設定」(22- 9ページ)

30.3 転送エラー

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
不正な IP アドレスです。	指定した IP アドレスの値が不正です。 正しい IP アドレスを入力してください。	
IP アドレスは既に存在します。 追加 / 変更できません。	IP アドレスの追加時に既に存在する IP アド レスを設定しています。重複しない IP アド レスを指定してください。	_
フォルダー覧を受信できませんで した。ルートフォルダへ移動しま した。	CF カードツールにて表示されているフォル ダが表示できなくなったためルートフォル ダへ移動しました。 表示できない原因としてフォルダが削除さ れた、CF カードが差し替えられた等が考え られます。 フォルダが削除されていないか、もしくは CF カードが抜かれていないか確認してくだ さい。	^{でぽ} 「27.5 CF カード にデータだけを 転送したい」(27- 27 ページ)
指定のファイル名は既に存在しま す。別の名前を指定してくださ い。	CF カードツールにてファイルをリネームし ようとして指定したファイル名が既に存在 する場合表示されます。 重複しないファイル名を指定してください。	
接続が切断されました。CF カー ドツールを終了します。	 ケーブルが抜かれた等が原因で接続が切れました。 ケーブルが正しく接続されているか等を確認してください。 【LAN】 PCのIPアドレスが正しく設定されているか確認してください。 ケーブルの種類は正しいか確認してください。 ケーブルはデジタル製のものか確認してください。 ドライバはインストールされているか確認してください。 	_
不正なパスワードです。	入力されたパスワードが間違っています。 正しいパスワードを設定してください。 パスロード入力を3回閉違えたときに表示	^{でぽ} 「27.6 パスワード で転送を許可し
キャンセルしました。	されます。 正しいパスワードを設定してください。	たい」(27-30 ページ)
ソケットがオープンできません。	LAN ポートが有効になっていません。 PC の LAN 設定を確認してください。	
プロジェクトファイルを読み込め ません。	ファイルが壊れているか、もしくはプロ ジェクトファイルではないファイルが選択 されています。正しいプロジェクトファイ ルを選択してください。	_
本体に接続できませんでした。	ケーブルが抜けているか、非対応のものが 使用されています。ケーブル接続・種類や USB ドライバのインストールを確認してく ださい。	^{Cぽ「} 27.2 USB 転送 ケーブルで転送 したい」(27-4 ページ)

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
ファイルアクセスに失敗しまし た。	ファイルのアクセス権がない可能性があり ます。 PC のアクセス権限を確認してください。	
通信中にエラーが発生しました。	ケーブルが断線しているか、またはノイズ の影響で通信ができません。ケーブル周り の状況を確認し、ケーブルが断線していな いか、またはノイズ等が発生していないか 確認してください。(USBの延長ケープル等 を使用している場合は使用しない等)	_
メモリエラーが発生しました。	PC のメモリが不足しています。他のアプリ ケーションを終了するか OS を再起動後、再 度転送ツールを実行してください。	
接続先の本体を認識できませんで した。 GP-Pro EX もしくは転送ツール のサポート対象機種かどうかを確 認してください	エディタの認識できない機器に転送しよう としています。 接続先の本体が GP かどうか確認してくださ い。	
情報取得に失敗しました。	システムがダウンロードされていない、あ るいは未サポート機種の可能性があります。 サポートされている機種かどうか確認の上、 本体のシステムを再度転送し直してくださ い。	^{でぽ「} 27.1 設定メ ニュー」(27-2 ページ)
不正なパスワードです。送信を キャンセルしました。	パスワードチェックができません。ファイ ルが破損した可能性があります。ノイズ等 が発生していない場所等で再度確認してく ださい。(USBの延長ケーブル等を使用して いる場合は使用しない等)	_
本体は通信中。接続できませんで した。	他のパソコンにて通信中です。 アクセス等が終わるまでお待ち下さい。	
データが書込めませんでした。	ファイルのアクセス不良、破損等で GP へ書 き込むことができません。 PC のハードディスクのアクセス権をチェッ クした後、強制転送を行ってください。	^{(②『} 「27.7 転送ツール の設定ガイド / 27.7.1[転送設定] の設定ガイド」 (27-37 ページ)
プロジェクトが受信できませんで した。再度、実行してください。	受信の際にデータエラーが発生しました。 ノイズ等が発生していない場所等で再度確 認してください。(USBの延長ケーブル等を 使用している場合は使用しない等)	_
プロ ^{ジェクトファイルが送信され} ていません。	受信先にプロジェクトデータが存在しませ ん。(転送相手がお買い上げ画面等)また は、データが壊れています。 まず、プロジェクト送信を行ってください。	^{GG} 「27.1 設定メ ニュー」(27-2 ページ)
CF カードデータが保存できませ んでした。	CF カードが正しく挿入されていないか、ラ イトプロテクトがかけられています。 CF カードを使用できる状態にしてください (デジタル製の CF カード以外はアクセスで きない場合があります。)	_

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
プロジェクトが転送先本体と異な ります。	比較にて転送元プロジェクトと本体内部に あるプロジェクトが異なるため比較できま せんでした。比較実行できるのは同一プロ ジェクトのみとなります。	^{CGP} 「27.4 転送前にプ ロジェクトの変 更点を確認した い(比較)」(27- 24 ページ)
フォーマットエラー。	本体のデバイスの初期化に失敗しました。 ノイズ等が発生していない場所等で再度転 送し直してください。	
通信先デバイスが見つかりませ ん。	指定の通信デバイスがない、または使用で きません。 PCのLAN設定やUSBドライバがインス トールされているかどうか確認してください。	_
転送に失敗しました。	通信中にエラーが発生しました。 ノイズ等が発生していない場所等で再度確 認してください。(USBの延長ケーブル等を 使用している場合は使用しない等)	
転送先の本体で書き込みエラーが 発生しました。	フラッシュの故障等が原因で本体へのデー タ書き込みに失敗しました。強制転送を 行っても改善されない場合は、 サポートダイアルへお問い合わせください。	^{(②「} 27.7 転送ツール の設定ガイド / 27.7.1[転送設定] の設定ガイド」 (27-37 ページ)
CF カード未サポート機種または CF カードが挿入されていません。	CF カードが正しく挿入されているかどうか 確認してください。(デジタル製の CF カー ド以外はアクセスできない場合がありま す。)	_
指定のファイル名は既に存在しま す。別の名前を指定してくださ い。	転送先にコピーするファイルと同じ名前の ディレクトリが存在します。 CFカードの内容を一旦、削除してから、再 度転送してください。プロジェクト転送時 にエラーが発生した場合は、強制転送を 行ってください。	^{CGF「} 27.5 CF カード にデータだけを 転送したい」(27- 27 ページ)
CF カードへ書込めませんでした。	CF カードが正しく挿入されていないか、ラ イトプロテクトがかけられている可能性が あります。 CF カード内のファイルがライトプロテクト されていないか等を PC にて確認してくださ い。	_
転送に必要なファイルがみつかり ません。	転送に必要なファイルがハードディスク上 に存在しないか壊れています。 再度転送ツールをインストールしなおして ください。	「27.7 転送ツール の設定ガイド/ 27.7.4 転送ツー ルのみインス トールして転送 したい」(27-41 ページ)
タイムアウトエラーが発生しまし た。	ノイズ等が発生していない場所等で再度確 認してください。(USBの延長ケーブル等を 使用している場合は使用しない等)	_

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
例外が発生しました。	転送に必要なモジュールが正しくインス トールされていない可能性があります。 再度転送ツールをインストールしなおして ください。	^{CGP} 「27.7 転送ツール の設定ガイド / 27.7.4 転送ツー ルのみインス トールして転送 したい」(27-41 ページ)
プロジェクトデータを転送できま せん。プロジェクトのデータサイ ズが最大容量を超えています。	転送しようとしたプロジェクトファイルの データサイズが GP の画面容量を超えていま す。 不要な画面データを削除する等の処理を行 い、データサイズを減らしてください。	^{CGP} 「6.7 プロジェク ト情報をみたい」 (6-36 ページ)

30.4 GP に表示されるエラー

アプリケーションエラー

エラー 番号	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
RAAA001	プロジェクトデータが ありません(プロジェ クトを転送してくださ い)	プロジェクトファイルが存在していませ ん。 プロジェクトを転送してください。	「27.2USB 転送 ケーブルで転送 したい パソコ ンから GP への 転送(送信)」 (27-5ページ) 「27.3イーサネット(LAN)で転 送したい パソ コンから GP への転送(送信)」 (27-12ページ)
RAAA002	プロジェクトデータの 容量がオーバーしてい ます	プロジェクトデータの総容量が最大サイズ を超えている。または、総画面数が 16000 ファイルを超えています。GP-Pro EX で 「プロジェクト情報」を参照し、総容量を 超えないようにしてください。	^{②デ} 「6.7 プロジェク ト情報をみたい」 (6-36 ページ)
RAAA003	プロジェクトデータに 異常があります(プロ ジェクトを転送してく ださい)	プロジェクトファイルに異常があります。 プロジェクトを転送しなおしてください。	 「27.2USB 転送 ケーブルで転送 したい パソコ ンから GP への 転送(送信)」 (27-5ページ) 「27.3イーサネッ ト(LAN)で転 送したい パソ コンから GP へ の転送(送信)」 (27-12ページ)
RAAA004	システム画面に異常が あります (強制転送を してください)	システム画面が存在していない、または異 常です。 強制転送をしてください。	「27.7 転送ツール の設定ガイド / 27.7.1[転送設定] の設定ガイド」 (27-37ページ)
			次のページに続きます。
RAAA005	初期画面で指定された 画面が存在しません (XXXX)	初期画面設定で指定した画面番号がプロ ジェクト内に存在していないため、画面表 示できません。初期画面番号を変更する か、画面を追加してください。括弧内には 指定された画面番号が表示されます。	「6.13 設定ガイ ド 6.13.6 [シス テム設定ウィン ドウ]の設定ガ イド 表示設 定」(6-90ペー ジ)

エラー 番号	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
RAAA006	プロジェクトデータに このバージョンのシス テムでは表示できない 未サポート機能があり ます	ランタイムプログラムが認識できない機能 が存在します。 エディタのバージョンとランタイムのバー ジョンが一致していない可能性がありま す。ランタイムのバージョンをアップして ください。	_
RAAA007	同時に使用できる部品 数がオーバーしていま す (最大 384 個)	1 画面に 384 個以上の部品が設定されてい ます。 画面切替、ウィンドウオープン時に部品数 がオーバーしています。使用可能な範囲内 に設定しなおしてください。	「6.14 制限事項 6.14.1 画面作成 の制限事項 作 成できる画面数」 (6-129ページ)
RAAA008	フォント(XXXX)が ありません(フォント を追加したプロジェク トを転送してくださ い)	表示しようとしたフォントがシステム内に 存在しませんでした。使用しているフォン トをシステム内にダウンロードしてください。 カッコ内には以下のフォント名を表示しま す。 日本語標準 韓国語標準 中国語標準 日本語ストローク 酸米ストローク 韓国語ストローク 中国語ストローク 台湾語ストローク	「6.13 設定ガイ ド 6.13.6 [シス テム設定ウィン ドウ]の設定ガ イド [フォン ト設定]の設定 ガイド」(6-111 ページ)
RAAA010	CF カードが挿入され ていません、または CF カードのハッチが 開いています	図形表示器で CF カードのファイルを表示 しようとしたときに、CF カードが挿入され ていませんでした。表示しようとしたイ メージファイル、または JPEG ファイルを CF カードにコピーし、CF カードを GP3000 シリーズに挿してください。	^{GP} GP ユーザーズマ ニュアル

RAAA011	CF カードからの起動 に失敗しました	DIP SW1 が ON にも関わらず、CF カード からの起動に必要なファイルが存在してい ない。または起動に必要なファイルが異常 である可能性があります。CF カードに起動 用プロジェクトをコピーしなおしてくださ い。	_
RAAA050	時計設定でエラーが発 生しました	時計データを更新する際、時計 IC に書込 みが失敗しました。 IC チップが故障している可能性がありま す。	

エラー 番号	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
RAAA051	バックアップ電池の充 電が必要です	バックアップリチウム電池の電圧が低下し たことが原因でバックアップ SRAM のデー タが消え、時計データが正しく保持されて いません。 GP へ電源を供給し十分な充電を行った上 で、再度時計データを設定しなおしてくだ さい。	^{CG®} GP ユーザーズマ ニュアル
RAAA100	システム先頭デバイス アドレスが正しくあり ません	システムデバイス先頭アドレスが正しく設 定されていない、または異常です。 オフラインで正しいアドレスを設定する か、プロジェクトを転送してください。	^{GPT} 6.13 設定ガイ ド 6.13.6 [シス テム設定ウィン ドウ] の設定ガ イド システム エリア設定」(6- 109 ページ)
RAAA101	不正または未設定のデ バイスアドレスがあり ます	部品や機能の設定で使用しているデバイス アドレスが不正です。正しいデバイスアド レスに設定しなおしてください。	_
RAAA102	接続機器からの読出し に失敗しました (XXXX)	接続機器からの読出しに失敗しました。 通信ケーブルが外れていないか等、接続状 況を確認してください。 カッコ内には部品名が入ります。	^{GP} GP ユーザーズマ ニュアル
RAAA103	指定したアドレス設定 が正しくありません (XXXX)	指定したアドレスが正しくありません。正 しいアドレスに設定しなおしてください。	_
RAAA120	指定した関数が存在し ない、または関数内に エラーがあります (D スクリプト)	D スクリプトで呼び出している関数が存在 しない。または関数内にエラーがありま す。関数の書式を再確認してください。	^{CG®} 「21章 プログラ ム命令、記述式 一覧」(21-1 ページ)
RAAA121	関数のネストが 10 段 階以上になっています (Dスクリプト)	D スクリプトで関数のネストが 10 段階以上 になっています。 if、loop 文の階層を減らしてください。 ネストとは、A 関数にて B 関数を呼び出 しており、さらに B 関数では C 関数を呼び 出している状態(関数呼び出し階層)のこ とを言います。	^{でデ} 「21.8 記述式 / 21.8.3loop - endloop」(21-64 ページ)
<u> </u>			次のページに続きます。
RAAA122	このバージョンのシス テムでは実行できない 未対応のスクリプトが 記述されています(D スクリプト)	プロジェクトデータの D スクリプトの中に 未対応の機能が記述されています。ランタ イムのバージョンをアップしてください。	_

エラー 番号	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
RAAA123	接続機器の設定が未設 定の状態で SIO 操作関 数が使用されています (D スクリプト)	接続機器の設定が未設定の場合にDスクリ プトで SIO 操作関数を使用しています。接 続機器の設定をおこなってください。	「6.13 設定ガイ ド 6.13.6 [シス テム設定ウィン ドウ]の設定ガ イド [スクリ プト設定]の設 定ガイド」(6- 117ページ)
RAAA124	D スクリプト内にエ ラーがあります	使用している D スクリプト内にエラーがあ ります。命令文の書式を再確認してくださ い。	^{CGP} 「21章 プログラ ム命令、記述式 一覧」(21-1 ページ)
RAAA130	最大数 32 個をオー バーしています(グ ローバルDスクリプ ト)	グローバル D スクリプトの総数がオーバー しています。グローバル D スクリプトの総 数は最大 32 個です(関数も1個とカウン トします)。	^{C愛「} 20.9 制限事項 / 20.9.1D スクリ プト / グローバ
RAAA131	デバイス合計が最大数 255 個をオーバーして います (グローバルDスクリ プト)	グローバル D スクリプト内の全てのデバイ ス合計が最大の 255 デバイスをオーバーし ています。メモリ操作関数等を利用して使 用デバイス数を減らしてください。	ル D スクリプト の制限事項」 (20-55 ページ)
RAAA132	指定した関数が存在し ないか関数内にエラー があります(グローバ ルロスクリプト)	グローバル D スクリプトで呼び出している 関数が存在しない。または関数内にエラー があります。関数の書式を再確認してくだ さい。	^{CGP} 「21章 プログラ ム命令、記述式 一覧」(21-1 ページ)
RAAA133	関数のネストが 10 段 階以上になっています (グローバルDスクリ プト)	グローバルDスクリプトで関数のネストが 10段階以上になっています。 if、loop文の階層を減らしてください。 ネストとは、A関数にてB関数を呼び出 しており、さらにB関数ではC関数を呼び 出している状態(関数呼び出し階層)のこ とを言います。	^{CGF「} 21.8記述式 / 21.8.3loop - endloop」(21-64 ページ)
RAAA134	このバージョンのシス テムでは実行できない 未対応のスクリプトが 記述されています (グ ローバルDスクリプト)	プロジェクトデータのグローバル D スクリ プトの中に未対応の機能が記述されていま す。ランタイムのバージョンをアップして ください。	_
			次のページに続きます。
RAAA135	接続機器の設定が未設 定の状態で SIO 操作関 数が使用されています (グローバル D スクリ プト)	接続機器の設定が未設定の場合にグローバ ルDスクリプトで SIO 操作関数を使用して います。接続機器の設定をおこなってくだ さい。	「6.13 設定ガイ ド 6.13.6 [シス テム設定ウィン ドウ]の設定ガ イド [スクリ プト設定]の設 定ガイド」(6- 117ページ)

エラー 番号	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
RAAA136	グローバル D スクリプ ト内にエラーがありま す	使用しているグローバルDスクリプト内に エラーがあります。命令文を再確認してく ださい。	^{CG®} 「21章 プログラ ム命令、記述式 一覧」(21-1 ページ)
RAAA140	関数の最大数 255 個を オーバーしています (拡張スクリプト)	拡張スクリプトの総数がオーバーしていま す。拡張スクリプトの総数は最大 255 個で す。 2 つのスクリプトを 1 つにまとめるなどし てスクリプト総数を減らしてください。	^{C愛} 「20.9 制限事項 / 20.9.2 拡張スク リプトの制限事 項」(20-58 ペー ジ)
RAAA141	指定した関数が存在し ないか関数内にエラー があります(拡張スク リプト)	拡張スクリプトで呼び出している関数が存 在しない。または関数内にエラーがありま す。関数の書式を再確認してください。	^{CGP} 「21章 プログラ ム命令、記述式 一覧」(21-1 ページ)
RAAA142	関数のネストが 10 段 階以上になっています (拡張スクリプト)	拡張スクリプトで関数のネストが 10 段階 以上になっています。 If、loop 文の階層を減らしてください。 ネストとは、A 関数にて B 関数を呼び出 しており、さらに B 関数では C 関数を呼び 出している状態(関数呼び出し階層)のこ とを言います。	^{でデ} 「21.8 記述式 / 21.8.3loop - endloop」(21-64 ページ)
RAAA143	このパージョンのシス テムでは実行できない 未対応のスクリプトが 記述されています(拡 張スクリプト)	プロジェクトデータの拡張スクリプトの中 に未対応の機能が記述されています。ラン タイムのバージョンをアップしてくださ い。	_
RAAA144	接続機器の設定が未設 定の状態で SIO 操作関 数が使用されています (拡張スクリプト)	接続機器の設定が未設定の場合に拡張スク リプトで SIO 操作関数を使用しています。 接続機器の設定をおこなってください。	「6.13 設定ガイ ド 6.13.6 [シス テム設定ウィン ドウ]の設定ガ イド [スクリ プト設定]の設 定ガイド」(6- 117ページ)
RAAA145	拡張スクリプト内にエ ラーがあります	使用している拡張スクリプト内にエラーが あります。関数の書式を再確認してくださ い。	「21章 プログラ ム命令、記述式 一覧」(21-1 ページ)
			次のページに続きます。
KAAA150	ハスワードが一致しません 正しいパスワード	セキュリティ機能のバスワード入力が間 違っています。大文字・小文字の区別など	※ '22.4 バスワード 入力ウィンドウ

エラー 番号	エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
RAAA151	ホストから画面を切替 てください	強制画面切替方式(従来の画面切替方式) で、PLC(ホスト)から画面切替をおこ なった場合に表示されるパスワード入力 を、キャンセルしたときに表示されます。 キャンセルしたい場合には、キャンセル通 知ビットを利用してPLC(ホスト)から前 の画面に戻すようにしてください。	_
RAAA152	COM ポートを使用で きません	使用しようとした COM ポートがすでに別 の機能で使用されている場合に表示されま す。設定を再確認してください。	^{CGP} 「7.4 接続機器 (PLC など)を 変更したい」(7- 18 ページ)
RAAA153	辞書ファイルがありま せん	日本語 FEP 用辞書ファイルが内部ストレー ジ、または CF カードに存在していません。 プロジェクトデータを再転送してください。	_
RAAA154	指定したファイリング データは、このプロ ジェクトでは使用でき ません	CF カードから SRAM にファイリングデー タを転送するときに、指定したファイリン グデータがプロジェクトデータと一致して いない場合に表示されます。プロジェクト データと一致するファイリングデータを使 用するようにしてください。	^ເ € [●] 「24.6 収集した データを CF カードに保存し たい(CSV 保 存)」(24-20 ページ)
RAAA155	IP アドレスが他の機器 と重複しています。本 機もしくは他の機器の IP アドレスを変更して ください。 (IP:XXX.XXX.XXX.XX X,MAC:XX:XX:XX:XX: XX:XX) ¹	ネットワーク上に同じ IP アドレスの機器が 存在します。本機もしくは他の機器の IP ア ドレスを変更してください。	^{CG} 「27.3 イーサネッ ト(LAN)で転 送したい パソ コンから GP へ の転送(送信)」 (27-12 ページ)
RAAA156	COM ポートの9番ピ ンを VCC(5V 電源供給) に設定できませんで した。接続ケーブルや 接続先の機器を再確認 してください。	COM ポートの9番ピンを VCC(5V 電源供 給)に設定できませんでした。COM ポート の接続ケーブルまたは接続先の機器を再確 認して、本機をリセットしていただくか、 あるいは、プロジェクトのスクリプト設定 の 5V 電源供給を再確認してください。	「6.13 設定ガイ ド 6.13.6 [シス テム設定ウィン ドウ]の設定ガ イド [スクリ プト設定]の設 定ガイド」(6- 117ページ)
RAAA157	システム先頭デバイス アドレスに割り当てて いる接続機器をオフス キャンにすることはで きません。	システム先頭デバイスアドレスに割り当て ている接続機器 (メイン PLC)がオフス キャンに設定されました。メイン PLC をオ フスキャンにすることはできません。メイ ン PLC をオフスキャンにしたい場合はシス テムデータエリアを使用しない設定にして ください。または、メイン PLC のオフス キャンの設定を解除してください。	^{(②『} 「6.13設定ガイド システムエリ ア設定」(6-109 ページ)

1 IP アドレスは 10 進表記、MAC アドレスは 16 進表記

システムエラー

GP 内部のシステムが正常に起動できない場合

システムの起動に関するファイルに問題がある場合、強制転送画面が下記エラーメッセージと共に表示されます。転送ツールによるシステムデータの再転送を行ってください。

MEMO	•	転送ツールの詳細については「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)を参照し
		てください。

エラーメッセージ	対象ファイル	原因
Start up Error : Boot.cfg	BOOT.CFG	起動に必要な Boot.cfg ファイルが消失もし くは破損
Start up Error : Default Font	******.FNT	デフォルトフォントデータが消失もしくは 破損
Start up Error : LanSys.cfg	LANSYS.CFG	LAN 設定ファイルが破損
Start up Error : System.cfg	SYSTEM.CFG	GP システムの起動に必要なファイル(シス テム設定ファイル)が存在しない
Start up Error : CF memory loader	BOOT.CFG	CF カード起動で CF カード内にある Boot.cfg ファイルデータ異常
Start up Error : CF MOUNT Error	_	CF カード起動で CF カード読込失敗
Start up Error : Runtime Load NG	BOOT.SYS LDMODULE.SYS STARTUP.SYS RUN****.SYS	GP 内部システムデータが消失もしくは破損
Start up Error : Runtime Start NG		GP システムの起動中にエラー発生 ・デフォルトフォントロードエラー ・ユーザフォントロードエラー
Compulsion Transfer Mode(DipSW2=ON)	_	ディップスイッチ 2 =ON による強制転送表 示 ¹
Compulsion Transfer Mode(Panel Touch)		起動時に画面左下もしくは右下をタッチし 続けての強制転送表示 ¹

1 この項目は異常ではなく正常ルートによる画面表示時

GP の起動中にファイル異常を検出した場合

システムの起動後の初期処理で必要なファイルに問題がある場合、通常転送画面が下記エラーメッ セージと共に表示されます。問題を修正後、転送ツールで再転送を行ってください

MEMO ・ 転送ツールの詳細については「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)を参照してください。

エラーメッセージ	原因と対処方法	参照
起動に必要なファイル (*****) が 読み出せません。プロジェクト データを再転送してください。	起動に必要なファイルの読出しが出来ませ んでした。再転送して復旧してください。 カッコ内には異常、または存在していない ファイル名が表示されます。	
不正または未設定のデバイスアド レスがあります (*****)。設定を見 直してプロジェクトデータを再転 送してください。	部品や機能の設定で使用しているデバイス アドレスが不正な場合。カッコ内は不正な アドレスが使用されている部品または機能 名が表示されます。ただしカッコは表示さ れないときもあります。	_
接続機器の最大設定数を超えてい ます。設定を見直してプロジェク トデータを再転送してください。	接続機器の最大設定数を超えています。(大型機種:4、中型機種:2)プロジェクトの 設定を確認して再度転送してください。	「6.13 設定ガイ ド 6.13.6 [シス テム設定ウィン ドウ]の設定ガ イド [周辺機 器一覧]の設定 ガイド」(6-112 ページ)